

平成24年度宇都宮市予算
に対する要望書

平成23年10月

宇都宮市議会
自由民主党議員会

はじめに

我が国の経済情勢は、100年に一度の世界的不況に襲われ、3年前のアメリカにおいて発生したサブプライムローン問題に端を発し、リーマンブラザーズの破綻による世界的金融市場の崩壊の影響を引き続き受け、さらに、急激な円高などによる不透明感がまん延し、なかなか最悪の状態から抜けきれないでいる。そして最近では、ユーロ圏の金融危機も発生しており、グローバル化した世界経済への波及が懸念されている。タイ洪水などの世界的な気象異常による被害も経済への影響に拍車をかけている。

また、都市と地方では依然として、内需産業と外需産業、あるいは個々の生活における世代間等で様々な形の格差社会が到来し、国民が将来の見通しに対する不安を感じているのも事実であり、世界一安全安心な国としての誇りが失われ、国民生活の困窮が強烈に感じられるようになっている。

国においては政権が交代し2年が経過したものの、国民の期待は大きく裏切られ、首相が毎年交代するなど、不安定政権が続き、最重要課題であるはずの景気回復策が効果的に実行されず、一向に混迷の状態から抜け出せないでいる。

今年3月11日の東日本大震災、そして東京電力福島第一原子力発電所の炉心溶解などの大事故による放射性物質の放出による被害により、日本全体に大きな影響が出ている。復興を目指す取り組みが喫緊の課題であるが、政府として十分な対応がとれているかは疑問である。

さて、本市の財政は、これまで、財政力指数・経常収支比率・自主財源比率等、財政の健全性を示す数値が全国類似都市と比較して相対的に上位に位置し、財政面での健全性は確保されていると考えられる。しかしながら、全国の多くの地方自治体が少子高齢化と金融不安の影響により、産業・経済面での活力の低下、就業人口減少による歳入の減少等、厳しい財政状況による都市経営を余儀なくされている。

少子高齢化、景気低迷による生活保護受給者の増加に伴い、扶助費は本市も年々増加し、また一方では、農林業、建設業、小規模小売店などの地場産業については景気回復の兆しがあまり見られず、本市でも地域間・産業間格差が表れてきている。

そこで、近年刻々と変わる市民のライフスタイルや消費者ニーズを鑑み、さらに本市としては財政の安定確保と健全な行財政運営を基本に景気対策に積極的

に取り組むことを要望するとともに、住んでよかったまち、住んでみたいまち
宇都宮の実現に向けて、おもてなしの心をもった、産・学・官一体となった市
民協働の活気あるまちづくりの推進を強く要望するものである。

※要望事項について

要望事項については、下記の3つに分類した。

【重点要望事項】

・・・政策課題実現のため、24年度に特に要望するもの。

【継続要望事項】

・・・重要案件であることから、昨年度に引き続き要望するもの。

【新規要望事項】

・・・時代の要請等から、今年度新たに要望するもの。

1、行政経営について

北関東初の50万人都市である「宇都宮市」は、将来において政令指定都市や道州制による州都を目指すためには、主体的・自立的な都市経営基盤確立が必要不可欠であり、財源の安定確保と健全な行財政運営が求められる。一昨年国においては政権交代が行われ、不透明な舵取りなどにより株価の下落や消費が更なる冷え込みを招き、景気が不安定な時代に突入した。それらにより、平成24年度の市税収入の伸びが期待できない中、更には今後の少子高齢化などに伴う扶助費の上昇などにより、投資的経費の確保は更に厳しい状況になることが予想される。しかしながら、本市の都市活力の向上・地場産業の支援という観点から、景気回復及び都市間競争に打ち勝つためには、積極的な行政経営が必要である。

そのため、より一層の民間活力を積極的に導入し、より効率的、より効果的に施策事業を行い、宇都宮市民全てが幸せに暮らせるような、財政安定と健全な行財政運営をしなければならない。

これらも含め、以下の事項について要望するものである。

【重点要望事項】

◎各種財政指標と各種基金の目標値維持のための取り組みの強化

【継続要望事項】

- ① 多様な行政需要に対応できる専門性の高い職員の採用・育成と適正配置
- ② ファシリティマネジメント等による効果的な公共施設管理の取り組み

【新規要望事項】

- ① 繰り越しや不用額を発生させないような予算の編成と執行
- ② 外郭団体ならではの積極的な事業への取り組み
- ③ 公共事業関係の組織見直し
- ④ 自転車のまちを総合的に推進していくための自転車課の設置

2、総合政策・都市整備・交通政策について

誇りの持てる本市の実現のためには、ネットワーク型コンパクトシティの実現に向けた積極的な取り組みを行い、さらに緑あふれる魅力的な景観形成を推進していく必要がある。

また、人や環境にやさしい公共交通網の整備充実と幹線道路や市民に身近な生活道路の整備を実施することが必要である。

併せて、産・学・官一体となった中心市街地の活性化及び都市アメニティづくりの積極的形成を行っていく必要がある。

これらも含め、以下の事項について要望するものである。

【重点要望事項】

◎ 駅東の公共交通の充実

【継続要望事項】

- ① 駅東口整備の早期実現に向けての取り組みの強化
- ② 宇都宮工業高校跡地の有効活用に向けての県との協議・調整
- ③ 市内県有施設（美術館、体育館、図書館等）と市有施設とのあり方検討
- ④ JR岡本駅の早期橋上化と周辺インフラ整備の早期着手
- ⑤ 地域内公共交通の更なる充実
- ⑥ 「宇都宮市自転車のまち推進計画」の推進
- ⑦ プロスポーツチームへの支援とチームを活用したまちづくりの強化促進
- ⑧ 都市ブランド戦略のより一層の推進

【新規要望事項】

- ① 今後の全市における計画的な拠点整備と地域振興策の充実
- ② 老朽橋の計画的な長寿命化工事の実施と架け替え工事の実施
- ③ 住宅リフォーム助成制度の検討
- ④ 水害対策等様々な効果が期待できる雨水貯留タンクと浸透柵設置の全庁的な取り組みの促進

3、自治振興について

様々なライフスタイルや価値観が溢れる中で、地方分権の推進による自治体の主体性・自立性の強化が図られようとしているのは、更なる宇都宮市の発展とそこに暮らす市民の幸せを望むためである。それには、市民・企業等と協働によるまちづくりのしくみの確立など、成熟した社会に対応出来る市政運営のあり方が必要になる。

身近な行政の推進や市民活動の促進・支援、行政と市民の情報の共有、政策形成過程からの市民参加の促進など、住民自治の成熟化を図りながら、個々のワークライフバランスが実現できる、市民・企業等と行政の協働による社会の形成を目指すべきであり、みんなが幸せに暮らせる市民協働のまちづくりの確立、都市の確立が必要となる。

また、市全体の幸せのためには、地域の均衡ある発展は重要であり、若者の転出や少子高齢化の傾向が進んでいる地域の振興を図る必要がある。

これらも含め、以下の事項について要望するものである。

【重点要望事項】

◎市北西部の振興

【継続要望事項】

① 自治会加入促進のための積極的な取り組み

【新規要望事項】

① 防犯灯へのLED電灯の採用の検討

② 自主防災組織や地域防災拠点、消防などの地域防災力の強化

4、環境政策について

環境への負荷の少ない持続可能な循環型社会の構築に向け、廃棄物の減量化・資源化を推進するとともに、豊かな地球環境を次世代に継承していくため、地球温暖化問題の解決に向けた具体的な取り組みを実施していかなければならない。

これらも含め、以下の事項について要望するものである。

【重点要望事項】

◎太陽光発電の取り組み強化

【継続要望事項】

- ① ごみ分別の更なる徹底と廃棄物のリサイクルの強化、もったいない運動の推進
- ② ゴミ焼却灰やスラグのリサイクル等の新技術の研究と販売促進

【新規要望事項】

- ① 再生可能エネルギーの部局を横断した積極的な活用
- ② 公共施設への太陽光発電・LED照明の積極的な導入

5、経済・農業について

経済環境の変化や消費者ニーズに柔軟に対応し、広域都市圏の中心都市として魅力と活力ある商工業を振興し、多様化する市場ニーズに応えられなければならない。

また、多様な産業の底辺拡大を図るためには、積極的な企業誘致により、本市財政と雇用の安定的な確保と同時に、次世代モビリティ産業の集積促進と充実が重要であり、地域産業としての農・商・工の基盤づくりと競争力の強化、産・学・官の連携を行っていく必要がある。

さらに、「おもてなしのまち宇都宮」をPRし、多くの観光客を呼び込むための工夫をして、観光都市を目指した新たな魅力づくりの推進を行う必要がある。

本市農業は、輸入農産物の増大や農業担い手の減少など厳しい環境にあり、加えて安全・安心な農産物を求める消費者や農林業の持つ癒しへの関心の高まりへの対応、更には品目横断的経営安定対策の取り組みが求められており、「農業王国うつのみや」を目指した食育や地産地消、都市と農村の交流、安全・安心な農産物の生産振興など、生産・流通・食品産業・消費者が一体となった総合的な農林業振興策を実施していかなければならない。

これらも含め、以下の事項について要望するものである。

【重点要望事項】

◎農業を元気にする取り組み

【継続要望事項】

- ① 企業誘致、新規起業者支援、産学官連携などの企業への積極的支援
- ② 中央卸売市場の在り方についての具体的な検討
- ③ 各種観光資源や、地元特産物を活かした都市型観光と農商工連携の推進
- ④ 大谷地区における振興（旧大谷公会堂の活用など）と安全確保や問題解決策の更なる推進

【新規要望事項】

- ① 市内イベントの選択と効果的な開催方法の検討
- ② ジャパンカップ等様々なイベントに対応できるような森林公園周辺の

総合的な整備

- ③ 釜川二重構造整備20周年記念事業のイベントの開催

6、医療・福祉について

健康で活気あるまちづくりを実現するために、市民の安全と安心を充実させることが重要である。そして、障がい者・健常者の区別なく老若男女が一緒にやさしさを享受できるまちづくりが求められていると同時に、人間としての尊厳も守られるものでなければならない。

また、明日の宇都宮を担う子どもたちが、夢を持って心身ともに健やかに成長できるよう、保健・医療・福祉・労働・住宅・教育など子育てに関連の深い分野について、連携を深め総合的な支援づくりに努めなければならない。

特に、保育制度については、待機児童解消に努めるとともに、現制度を堅持しつつ拡充に努める必要がある。

安全安心な社会づくりのためには、上質な医療を提供していくための救急医療をはじめとする様々な取り組みを今後とも実施していかなければならない。

さらに、児童虐待やDV対策における取り組みを強化することにより、幸せに暮らせる社会の実現を目指す必要がある。

これらも含め、以下の事項について要望するものである。

【重点要望事項】

◎重度心身障がい者医療費助成制度の充実

【継続要望事項】

- ① 各種検診の受診率向上に向けた取り組み
- ② 高齢者入所・通所介護施設への支援の充実
- ③ 障がい者福祉の充実(授産施設支援、社会的自立支援、日中一時支援、入所・通所施設の整備、発達支援児保育の充実)
- ④ 保育所の待機児童解消のための施設の増設及び保育所運営・保育士への待遇改善

【新規要望事項】

- ① 認定こども園と既存保育所の運営方法や保育方法、保護者負担などについて、なるべく差異が生じないよう調整を図ること
- ② 生活保護費の適正支給と生活保護受給者の就労支援の強化

7、子ども・教育政策について

教育環境の充実については、家庭・地域社会が一体となった取り組みが不可欠であり、不登校・非行などを防止するための幅広い施策を講じるとともに、一人ひとりの子どもが個々の能力を発揮できるよう、心を育む教育活動推進事業など総合的な施策事業に取り組むことにより、社会の変化に柔軟に対応できる自主性や想像力を培い、心身ともに健康で、たくましい宮っ子づくりを推進していくことが重要である。

また、青少年の社会参加の機会を拡大するための活動拠点の確保や問題行動の早期発見に努めるとともに、家庭や学校・地域・行政が人づくりに関して共通の理念をもち、それぞれの役割を認識し、その実現に向けて連携協力しながら子どもの健全育成に取り組むことが重要である。

これらも含め、以下の事項について要望するものである。

【重点要望事項】

- ◎東日本大震災により被災した小中学校・スポーツ施設の復旧と今後の災害時対応の強化及び福島第一原子力発電所の事故による放射線対策の取り組み

【継続要望事項】

- ① 小中学校通学区域の見直し等、少子化による諸問題解消に向けた積極的な取り組み
- ② 危険な通学路や歩行スペースのない道路における歩道の早期整備
- ③ 小中学校2学期制の検証と土曜日授業に向けての積極的な取り組み
- ④ 健康増進のための生涯スポーツの推進とスポーツ施設の整備充実

【新規要望事項】

- ① 蒲生君平の顕彰と教育への取り組み
- ② 小中一貫教育と地域学校園の全市一斉の円滑な実施（人的体制の整備など）
- ③ 宮っ子ステーションの早期全校設置と子どもの家等の開設時間延長などの事業の充実

平成23年10月28日

宇都宮市長 佐藤栄一 様

宇都宮市議会自由民主党議員会

会長 中山勝二

平成23年度宇都宮市予算に対する要望書の提出について

標記のことについて、よろしく取り計らい願います。